

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|-------|--|
| 事業所番号 | 4078300094 | | |
| 法人名 | 有限会社西日本総合 | | |
| 事業所名 | 立花グループホームかつき苑 | 東館・西館 | |
| 所在地 | 福岡県八女市立花町山崎1918番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年5月10日 | | |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------------------|---------|------------|
| 評価機関名 | 株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部 | | |
| 所在地 | 福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階 | | |
| 訪問調査日 | 平成24年5月21日 | 評価結果確定日 | 平成24年8月10日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

決められた1日の予定を消化していくのではなく、生活者のペースに合わせたゆっくりとした生活を送っている。調理が好きな方が調理を手伝ってもらったり、掃除が好きな方は一緒に掃除したり、裁縫が好きな方は、雑巾を作ってもらったり、やりたいことをやれる環境を作っている。苑のバスにて季節ごとの風物や催し事などを見にお出かけを行っている。苑に花壇や畑を作っており、生活者自身が耕し育てている。収穫した野菜はみんなの食卓にあがっている。グループホームの生活者であっても、関連施設であるデイサービス等を利用したり、逆にグループホームにデイの利用者に来てもらうなど相互に協力しあう体制がある。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

今年度開設10周年を迎えるホームである。地域に開かれたグループホームを目指し、年々ホームの夏祭りや行事は盛大になり、地域の方の認知度や理解、協力等、連携は深まっている。今年の4月には、入居者の方々や家族とともに10周年祝いを開催しており、「10周年かつき苑福祉ネットワーク感謝のつどい」として、家族や地域の方、運営推進会議メンバー等を招待し交流会も実施する予定である。職員の一人ひとりが明るく笑顔にあふれており、人間関係も良好な為、チームワークのとれた安定したケアが提供されている。また、マイクロバスを所有し、利用者全員参加にてバスバイクに行くことも当事業所の特徴であり、今年度のテーマとする「生活者も介護職も笑顔で暮らす生活」を実践している。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | | 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | |
|----|--|---------------------|--|----|---|---------------------|--|
| 58 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27) | 1. ほぼ全ての利用者の | | 65 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21) | 1. ほぼ全ての家族と | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 家族の2/3くらい | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. 家族の1/3くらい | |
| | | 4. ほとんど掴んでいない | | | | 4. ほとんどできていない | |
| 59 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40) | 1. 毎日ある | | 66 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22) | 1. ほぼ毎日のように | |
| | | 2. 数日に1回程度ある | | | | 2. 数日に1回程度 | |
| | | 3. たまにある | | | | 3. たまに | |
| | | 4. ほとんどない | | | | 4. ほとんどない | |
| 60 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40) | 1. ほぼ全ての利用者が | | 67 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 少しずつ増えている | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. あまり増えていない | |
| | | 4. ほとんどいない | | | | 4. 全くない | |
| 61 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39) | 1. ほぼ全ての利用者が | | 68 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | 1. ほぼ全ての職員が | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 職員の2/3くらい | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. 職員の1/3くらい | |
| | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない | |
| 62 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51) | 1. ほぼ全ての利用者が | | 69 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 利用者の2/3くらい | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. 利用者の1/3くらい | |
| | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない | |
| 63 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33) | 1. ほぼ全ての利用者が | | 70 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 家族等の2/3くらい | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. 家族等の1/3くらい | |
| | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどできていない | |
| 64 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30) | 1. ほぼ全ての利用者が | | | | | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | | |
| | | 4. ほとんどいない | | | | | |

| 自己評価および外部評価結果 | | | | | |
|-----------------|-----|--|---|--|-------------------|
| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 敬天愛人・独立自尊・日日感謝を法人全体の理念としている。また、「地域に根付き、地域と共に暮らせるように支えていきます」という文言の入ったグループホーム理念を朝礼にて毎日全職員で唱和し、実践出来るための確認を行っている。 | 毎朝、朝礼時に理念の唱和を行い、意識付けを行っている。また理念とは別に、今年度は「生活者も介護職も笑顔で暮らす生活を」をテーマに掲げており、「和顔愛語」を目標に、日々のケアに取り組んでいる。 | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の集会に参加したり、行事や推進会議に区長・老人会長・民生委員などを招き交流を持っている。創立記念日には、地域の区長・老人会長・民生委員等を招待して開催した。又地域の小学生の体験授業を受け入れたりしている。 | 自治会に加入しており、地域の行事にはなるべく参加できるように取り組んでいる。地区の敬老会には入居者全員が参加し、交流を深めている。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 毎年グループホーム職員が老人会の集会などに参加し、インフルエンザ予防や感染症などの講演を実施している。また地域支援ホールを開放している。 | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 老人会長・民生委員・行政・家族代表・生活者代表等の方が参加されている。外部評価等の事項は推進会議にて報告し、その際参加者より意見などをいただき記録を残し、実践するよう心がけている。 | 運営推進会議は、2ヶ月に1回、定期的で開催されている。毎回、家族全員に案内状を出し、会議に参加していただくよう工夫している。会議内容を記録し、職員との共有や協議を行いながら、運営に活かせるよう取り組んでいる。 | |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 八女市役所立花支所の福祉担当者に推進会議へ参加していただいている。八女市役所、旧立花役場福祉及び生保担当者には、家族問題や金銭問題、生保など色々な相談等をしながら苑での取り組みを相談している。 | 毎回、運営推進会議に参加してもらい、適宜助言をいただいている。ケースワーカーとも相談や連絡、情報交換を行い協力関係を築いている。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員に対しては身体拘束に関する理解を深めるよう朝礼や研修などで説明を行っている。また身体拘束をしないいいようなケアを行う為のケア内容の検討などを朝礼やカンファレンスにて行っている。 | 身体拘束をしないケアを実践しており、離床センサーの使用者もいない。職員と入居者が協力し合い、見守りを徹底している。言葉による拘束についての研修も実施しており、職員は意識しながら日々のケアに取り組んでいる。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 職員に対しては虐待に関する理解を深めるよう説明を行っている。また虐待とならないケアを行う為のケア内容の検討などを朝礼やカンファレンスにて行っている。 | | |

福岡県 立花グループホーム かつき苑

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | (6) | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 朝礼等にて周知しているが、今後研修などにて学ぶ機会をさらに作っている。 | 外部研修に参加した際は、朝礼等で研修内容を報告し、職員間で共有を図っている。 | 法人内の研修委員会を活用し、定期的に研修が計画され、制度の意義や理念について、職員の理解を深めていく予定としている。家族や地域へ向けた情報発信も含め、今後の取り組みに期待します。 |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 家族と管理者でインテークを行ったうえで十分な説明をして、疑問があれば尋ねて頂けるよう配慮し契約を行っている。 | | |
| 10 | (7) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見箱を設置したり、面会時にもご家族とお話しができるように必ず声かけを行っている。推進会議にても利用者・家族代表の方にも参加していただいているので十分な意見を聞けるように配慮している。 | 年1回の家族会、及び家族が参加された行事の後には、反省会を開催しており、率直な意見を出していただき、運営や次の催しにつなげている。家族の意見により、推進会議の時間が16時から参加しやすい14時に変更されている。 | |
| 11 | (8) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員の意見は管理者が普段から聞けるように良好な関係構築している。またその意見は管理者より代表者に提案するようにしている。 | 管理者及びユニット長は、職員とのコミュニケーションを密に図っており、いつでも気軽に話せる環境を作っている。そのため職員から活発な意見や提案等が出されており、柔軟に対応している。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 代表者は職員の努力ややる気を押し進め、本人の能力向上の為に研修に参加させ、スキルアップに努めている。 | | |
| 13 | (9) | 人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 職員の採用に関しては本人のやる気・能力・経験を考慮して行っている。不当な理由での排除は行っていない。職員の働く意欲が出て能力が発揮できるように、朝礼などを通じ資料を配ったり、訓辞等が行われている。 | 年齢や性別、資格の制限はない。「やる気」「笑顔」「優しさ・思いやり」を重視し採用している。職員は料理や歌が得意であったり、マイクロバスを運転しバスハイクに出かけたりと、能力や特技が生かされている。 | |
| 14 | (10) | 人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる | 朝礼や研修・カンファレンスにおいて、プライバシーなどの基本的な順守事項を定めている。今後も継続してお粉らしている。 | 朝礼時にプライバシー保護、虐待、身体拘束、認知症の関わり方等、事例を通しての勉強が実施されている。 | |

福岡県 立花グループホーム かつき苑

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 15 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部での研修では積極的に参加を呼びかけている。またヘルパー2級等の資格取得を推奨し、現在も勤務しながら2名が講習を受けている。 | | |
| 16 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会や協議会等が主催する研修に積極的に参加している。また他グループホームへ訪問し見学するなどの機会を設けている。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 17 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 管理者を中心によく生活者の話を聞くようにしている。また安心して生活していただけるよう希望などを聞き、最大限実現するよう努力をしている。 | | |
| 18 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族にも不安や不明な点がないかよく話を聞き、信頼関係が築けるよう心掛けている。 | | |
| 19 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | かつき苑のサービスはもちろん、外部の様々なサービスの紹介を含め一人一人にあった支援を提案している。 | | |
| 20 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | できるだけ家事等に参加していただくよう各生活者の特性理解しながら協力をお願いしている。生活者も家事を楽しまれており、生きがいとなっている。 | | |
| 21 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 介護できる家族がない場合が多いが、家族へ3～4ヶ月に1度は近況報告書を出したり、面会時には普段の様子を伝えたり電話による報告もするよう心がけている。また、年1回家族会をしたり、各行事に参加してもらっている。 | | |
| 22 | (11) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 知人の方の面会も来ていただいている。地域の祭りや催しなどにはバスで生活者を連れて参加するようにしている。バスでお出掛けする時は生活者の自宅周辺にも立ち寄っている。 | 外出時に自宅前を通ったり、自宅に寄って仏様参りをしたり、お墓参りに行くこともある。馴染みの床屋やお店に行き、関係が途切れないよう支援している。 | |

福岡県 立花グループホーム かつき苑

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 23 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている | 生活者同士の関係も踏まえ、生活の様々な場面席の 配置や部屋割り等を、生活者同士の関係などを鑑み て調整している。また仲の悪い方同士の場合も職員 が間に入り仲裁したり、別の話題を話したりしてトラブ ルを未然に防ぐ努力をしている。 | | |
| 24 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 亡くなられた生活者の家族が野菜を持ってきてくださ る方もおられる。良い関係を継続していけるよう努力 している。催事のあるときは、案内を出してきていた だけようつとめている。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 25 | (12) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている | 生活者がここでどのように暮らしたいか、日頃ケアの 中でマンツーマンなる機会に話を聴くようにしている。 希望があった場合は、介護計画や日常生活に希望 を反映できるようにしている。 | 和やかな雰囲気が入居者が話しやすいよう1対1 の場面作りを心がけている。聴取した内容は、介 護記録に残し職員で共有しており、希望や意向 に沿えるようケアに取り組んでいる。 | |
| 26 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている | 新たに入居された際は、苑での生活に役立てられる ように過去の生活歴や嗜好などの聞き取りを行い、 フェースシートに記入するようにしている。 | | |
| 27 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている | 職員一人一人が感じたり、聴いたりしたことは申し送 りやカンファレンスを通じ、一人一人生活の状況を把 握し、記録を行っている。 | | |
| 28 | (13) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している | 計画作成担当者を中心に月に1回カンファレンスを行 い、介護計画に反映するようにしている。また最低半 年に1回は主治医の意見書等を参考にモニタリングを 行い介護計画の作成を行っている。 | 前年度よりステップアップを図っており、担当制を 導入している。担当制を導入したことで、入居者 を深く把握できるようになり、カンファレンスでの 意見も活発化している。話し合った内容は介護計 画に反映され個性に富んでいる。モニタリング も毎月実施しており、現状の把握を行っている。 | |
| 29 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている | 生活者の状況は記録や申し送りノートに記入し、全員 が同じケアが出来るように努力している。今後はその 為のケア内容確認カードを導入し、さらに介護の質の 向上を目指している。 | | |

福岡県 立花グループホーム かつき苑

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | かつき苑は共生ホーム・デイサービスケアプラン・グループホームと多くのサービスを提供している。生活者の状況や精神状態によってグループホームだけでなく他のサービスを利用したり、対応してもらえ、個別のサービスに捉われないケアを実践している一人一人の状態に応じ、サービスの変更や新しい方法等も必要に応じ行っている。 | | |
| 31 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 家族や地域の方等から意見を聴いたり、地域の行事に参加するなど協力を行っている。また近隣の方へ差し入れをしたりして関係を作っている。 | | |
| 32 | (14) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医が苑に定期的に往診に来ている。また専門的な医療が必要な場合は、主治医・看護師の意見を聞き必要な医療が受けられるように受診の支援を行っている。また主治医が勤務している日は毎日FAXで異常のある方は報告相談しじをいただいている。 | 定期的な往診に加え、毎日看護師が状況をFAXで送信し、必要な場合は指示をもらっている。他科受診や透析等の通院支援も実施している。 | |
| 33 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師は全生活者の状態を把握し、必要に応じ、看護職員や主治医、家族等に連絡相談を行い適切な医療を受けられるよう援助している。 | | |
| 34 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院ごの生活者の生活の援助や家族等の連絡等を行ったり、入院先の医療機関情報交換を行い適切な治療が受けられ、またスムーズに退院が出来るよう対応している。 | | |
| 35 | (15) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 終末期をどこでどう迎えるか家族へ要望を聞き確認する書類を作成している。 | 重度化した場合や終末期のあり方については、本人、家族の意向や、医師の判断のもとに話し合いを重ね、方針を共有しており、入院またはホームでの看取りが実践されている。看護師によるエンゼルケアが実施され、出棺時にはホームの皆でお見送りしている。 | |
| 36 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 研修等により緊急時対応方法など急変時に対応できるようにマニュアルを作成し職員全員に周知徹底するようにしている。 | | |

福岡県 立花グループホーム かつき苑

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37 | (16) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 昼・夜両方の時間帯を想定した避難訓練をすでに実施している。また消防等に意見を求めたり、地域の協力者をつくり、緊急時に備えている。 | 消防署立会のもと、避難訓練を実施している。近所の方にも参加してもらい、誘導や避難後の見守り等の協力体制を構築している。 | |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 38 | (17) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 様々な機会で生活者の尊厳・プライバシーに配慮した対応をするように指導している。入浴時は同性による介助をしたり、排泄介助時はカーテンを使うなど配慮している。 | 様々なケースでの声のかけ方や対応の仕方等、事例集による勉強会が朝礼時に行われている。馴染みがあり、親しみやすい「方言」については、強い口調にならないよう心がけている。 | |
| 39 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 介護者の一方的なケアにならないよう自分で希望を言えるように話を聞く様にしているそれらをカンファレンス等で話し合う機会を作っている。 | | |
| 40 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | あえて強制的な日課を作らず、その日の体調や希望によって生活者のペースで生活してもらうように心がけている。 | | |
| 41 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 出来るだけ生活者のしたいオシャレができるよう配慮している。誕生会の時には、口紅、おしろい等、また生活者にあった服装のコーディネートをするようにしている。 | | |
| 42 | (18) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 生活者の嗜好を把握し、食事形態を変えたり、嫌いなものは別なものを作ったりしている。下ごしらえや味見、かたづけ等生活者にも手伝ってもらいながら行っている。 | 入居者の食べたい物や、旬の物を取り入れたメニューを作成し、制限食も食材や調理を工夫し、提供している。日課として、毎日晩酌を楽しみとしている方もいる。 | |
| 43 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事は記録するようにしている。水分は定時には必ず摂ってもらうようにし脱水などを予防している。病気などで食事や水分量がいらなくなった方には、流動食なども対応している | | |

福岡県 立花グループホーム かつき苑

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 口腔ケアチェック表を作成し、自分で出来る方は自力で、介助が必要な方は職員が一人一人にあった口腔ケアを実施している。風邪防止のためお茶でうがいをしてもらっている。1日3回チェックしている。 | | |
| 45 | (19) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個別にトイレ誘導を行い、時間を決めて誘導する方もあるが、本人の希望に合わせて誘導する方もある。出来るだけトイレでの排泄が出来るように介護計画を立てている。 | 排泄パターンを把握し、個々に合ったトイレ誘導を実施している。日常の中で個別のサインを把握し、さりげない対応に努めている。リハビリパンツから布パンツへの移行も支援している。 | |
| 46 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排便はすべて量や回数をチェック表につけている。それにより排便がない、または下痢状態を把握し、看護師や主治医と相談し対策を行っている。 | | |
| 47 | (20) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 誰がいつ何時に入浴などは決めず、バイタルや看護師と相談しながら生活者のペースや必要性にあわせて入浴を行っている。またその記録をつけている。また入浴剤を準備して入りやすい環境を作っている。 | 365日、毎日入浴可能としている。拒否が強い時はタイミングを見計らい、声かけ誘導を行っている。少なくとも、3日に1回は入浴できるよう支援している。時には温泉に行き、気分転換を図る機会もある。 | |
| 48 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 起床時間や消灯時間は決めておらず、生活者自身が自分のペースで、寝起きしてもらっている。体調や病状に合わせてながら、生活者自身の希望で午睡してもらっている。 | | |
| 49 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋を管理し、看護師や主治医をとおり、服薬の管理を行っている。症状についても看護師・主治医にそのつど相談し、薬の内容を決めてもらっている。 | | |
| 50 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 野菜の皮むきや配下膳、掃除、洗濯物たたみ、畑仕事など生活者の一人一人の希望にあわせ、やりたい事が出来るようにしている。またカンファンレンスでも何か出来る事やしたい事がないかなど話し合う機会を作っている。 | | |

福岡県 立花グループホーム かつき苑

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | (21) | <p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>散歩や畑仕事・買い物など希望により個別に対応している。また、季節にあわせバスにて祭りや自然を観察しに外出したりしている。</p> | <p>散歩や買い物等、「行きたい場所」に行けるよう個別対応で外出している。月1回はマイクロバスを使い全員で外出している。ホームとしては、できれば週1回の頻度でバスハイクできることを検討している。</p> | |
| 52 | | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>お金を管理できる方には管理してもらっている。買い物など希望があれば対応するようにしている。</p> | | |
| 53 | | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>電話や手紙の希望があればその都度支援している。</p> | | |
| 54 | (22) | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>季節の花々を飾ったり季節に合った創作物掲示するなど、全館で生活者が快適に生活できるよう配慮した環境作りを心掛けている。</p> | <p>家庭的な雰囲気のあるリビングは、ドアの開閉時になるチャイム等は一切なく、静かな空間であり落ち着く場所となっている。要所要所に椅子が置かれており、好きな場所でくつろぐことができる。</p> | |
| 55 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>いつも座る以外の椅子とソファを配慮し、思い思いの過ごし方が出来るように配慮している。室外にも日なたぼっこ用の椅子を置いている。</p> | | |
| 56 | (23) | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>生活者や家族から意見や希望を聞きながら家族の写真などを貼り生活者が自宅にいるような雰囲気の中で生活出来るようにしている。その人の状況にあったベッドや布団、畳みのセッティングを行っている。</p> | <p>各居室には、馴染みのある物や思い出の品等が置かれている。ヘッドホン付き電子ピアノを置いている居室もあり、いつでも好きな時に弾ける環境になっており、趣味が継続できている。また遺影や仏壇を持ち込まれており、お茶やご飯のお供えの支援も行っている。</p> | |
| 57 | | <p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>適所に手すりを設置し、移動が困難な場所には職員が介助して移動してもらっている。</p> | | |